

TWS-007 PAC分析の理論と具体的な実施技術

講演者：内藤 哲雄（福島学院大学）

講演者：いとうたけひこ（和光大学）

PAC分析のPACとは、Personal Attitude Construct（個人態度構造）の略称であり、個人別に態度構造を測定するために内藤（1993,1994）によって創造・開発された事例研究方法である。この分析法は、（1）当該テーマに関する自由連想（アクセス）、（2）連想された項目間の被験者による類似度評定、（3）類似度距離行列によるクラスター分析、（4）被験者によるクラスター構造のイメージや解釈の報告、（5）実験者による総合的解釈を通じて、個人ごとに態度やイメージの構造を分析する手法である（内藤, 1997）。本セッションでは、質的方法と量的方法を統合したその理論と実施上の具体的手法をお伝えしたい。